

**第七次甲府市総合計画における
都市像(案)及び基本目標(案)について
(審議会資料)**

4 甲府市の目指す姿

(1) これからのまちづくりの方向性

武田信虎による開府から 500 年以上の歴史を持つ本市は、人同士のつながりが深い甲府市らしい文化や歴史、豊かな自然を生かした山なみ景観や農業景観、地域資源を活かした地場産業と観光やスポーツなど、先人たちが地域に愛着を持ちながら大切に築き上げてきた財産を受け継ぐ中、「人」「まち」「自然」が共生するバランスの取れた住みよい都市を創ってきました。

これからの未来に向けても、地域の持続可能性を確保し、より住みやすく、より良い環境を次の世代に引き継いでいくためには、人口減少や災害、地球環境の保護といった課題への継続的な対策と、子どもから高齢者、障害のある人など、全ての人が誰一人取り残されない社会的な包摂の実現、利便性の高い地域公共交通の整備や、産業など経済活動の発展、安全・安心で健やかな暮らしの維持といった様々な分野における継続的な取組とともに、県都・中核市として圏域の発展や山梨の政治経済をけん引していく役割も担う中、リニア中央新幹線の開通を見据えた拠点整備、日本遺産を有する豊かな自然を守るカーボンニュートラルの実現、水素をはじめとする次世代エネルギーの活用など、本市の強みとなる特徴ある取組を意識しつつ、新たな歴史を創る様々なことへのチャレンジも必要となります。

こうした取組を支える根幹となる主体が、地域の担い手となる『ひと』であり、その多様な『ひと』が自分の持ち味をそれぞれ最大限に発揮しながら連携・協働していくことで、将来の予測が困難な時代においても、明るい未来を創り上げていくことに繋がっていきます。

デジタルなど技術革新の進展により時間や場所に捉われない柔軟な働き方が可能になり、また、価値観やライフスタイルの多様化など社会の変化が進む中で、一人一人が生き方を選択できる時代を迎え、これからのまちづくりは、夢や希望を抱くことができ、また叶えることができるといった、それぞれの幸せを目指していける居場所として選ばれるための魅力を備えていくことが大切であると考えます。

こうしたことから、一人一人が「自己実現できる」「心の豊かさや幸せを実感できる」、いわゆるウェルビーイングの視点を中心としたまちづくりを進めていくこととします。

(2) 甲府市の目指す姿

甲府市は、甲府に関わるすべての人が、生涯にわたり成長を続け、それぞれの個性を活かし自分らしく活躍できるような、「一人一人が幸せを実感できる居場所」を創り上げることを市民と共有する目標として掲げます。

そして、この目標の実現に向けて、人や豊かな自然など、悠久の歴史の中で先人たちが培ってきた資産がもたらす甲府のポテンシャルを最大限に活かす中で、変化の激しい時代にあっても、誰もが安心して生き生きと暮らすことができるような希望ある未来を創り続けていくことで、多くの人に選ばれるまちとなることを目指し、次のとおり都市像を定めます。

幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

5 基本目標

(1) 基本目標を構成する考え方

都市像： 幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

○「幸せを実感できる居場所」である甲府市は、

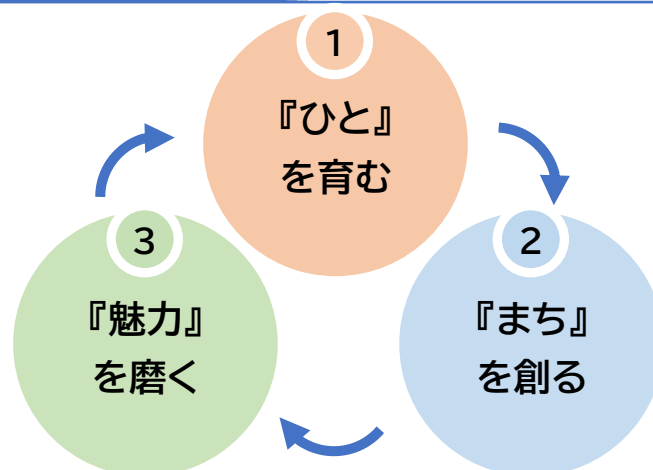
- ◆ 多様な価値観を包摂し、一人一人が自分らしい生き方を選択できる。
 - ✓ 誰もが快適で、安心して生活できる環境が整備されている。
 - ✓ 一人一人が自分の暮らしに満足感や生きがいを感じている。
 - ✓ 人との交流や地域とのつながりが豊富で、誰もが自分らしく活躍できる。
 - ✓ 一人一人が未来に希望を持ち、夢に向かって歩いていく姿をみんなで応援する。
 - ✓ みんながふるさと甲府に愛着を持ち、心の拠り所となっている。

○「希望ある未来を創るまち」である甲府市は、

- ◆ 人と人との活発な交流が生まれ、まちに活力があふれている。
 - ✓ 自然・文化・歴史といった地域資源と技術や知見を組み合わせ、甲府ならではの魅力を創出している。
 - ✓ リニアでつながる大都市圏から様々な人が訪れ、多文化的・多世代的な交流がある。
 - ✓ 国内外から人を惹きつける魅力があり、市民に誇りと愛着が根付いている。
 - ✓ 歴史や伝統を大切にしつつも、新たな変化を楽しめる寛容さがある。
 - ✓ 多様な主体が共創する文化があり、挑戦を後押しする風土が定着している。

次期総合計画策定に向けた基本的な考え方

甲府ならではの『ひと』をキーワードとしたまちづくり



まちづくりの根幹となる『ひと』を育み、その『ひと』が暮らしを支える『まち』を創り、『ひと』が集まり『まち』を活気づける『魅力』を磨く。
こうした『ひと』『まち』『魅力』の好循環を創り上げることで、誰もが未来に夢や希望を持ち、幸せを感じられる甲府市を実現する。

基本目標1 未来に輝く『ひと』を育む

人口減少社会への適応と、変革する時代に対応していくためには、地域を支える全ての根幹である人の成長が必要な視点となることから、次の点を踏まえた「ひと」を育むことを第一の目標とします。

- ・ 子どもの健やかな成長に関わる環境整備や学校教育の充実
〈子ども・子育てへの支援、学校教育の充実、青少年の健全育成〉
- ・ 多様な人が自分らしく生きていける包摂性
〈地域福祉の推進、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実、社会保障の充実、健康づくりの推進、医療環境の充実〉
- ・ スポーツ、文化・芸術の振興などを通じた生涯学習
〈生涯学習の充実、スポーツの振興、文化・芸術の振興〉
- ・ 一人一人の生き方を互いに尊重し合う人権尊重
〈人権尊重・男女共同参画の推進、国際交流・多文化共生の推進、協働の推進〉

基本目標2ひとを支える、快適で住みやすい『まち』を創る

「ひと」が育まれ、成長していくためには、安定して心地のよい生活の基盤となるまちの発展が重要な視点であることから、次の点を踏まえた「ひと」の暮らしを支える「まち」を創ることを第二の目標とします。

- ・ 安全・安心で健やかに暮らせる地域の強靱化
〈防災・危機管理対策の推進、消防・救急体制の充実、防犯・交通安全対策の充実、消費者保護の推進〉
- ・ 便利で快適な都市機能の充実
〈住環境の向上、水道水の安定供給、生活排水の適正処理、生活衛生の充実、公共交通の利便性の向上、道路の整備、市街地の整備、計画的な土地利用の推進〉
- ・ 自然環境の保全や景観の整備
〈自然環境の保全と地球温暖化対策の推進、公園の整備と緑化の推進、循環型社会の構築、良好な景観の形成〉

基本目標3ひとが集い、まちがきらめく こうふの『魅力』を磨く

魅力ある「まち」は「ひと」が集まり活気にあふれ、経済や産業の持続的な発展につながることから、甲府らしさを活かした人を惹きつける「魅力」の磨き上げを第三の目標とします。

- ・ 自然・歴史・文化・地場産業など地域資源の磨き上げ
〈商業・工業の振興、農業・林業の振興、雇用対策の推進、卸売市場の活性化、観光の振興、中心市街地の活性化〉
- ・ 戦略的なシティプロモーション
〈移住・定住の促進、シティプロモーションの推進〉
- ・ 持続可能な地域に向けた広域連携
〈広域的な連携の推進〉
- ・ 充実した行政サービスの提供
〈持続可能な行財政運営〉